

# 秋田県における部活動の地域移行推進計画(Ver.1) 【概要】

基本的な考え方

趣旨

子どもたちが、身近でスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことのできる環境づくりを目指し、学校と地域が連携・協働の下、総合的・計画的な取組等を進めるために本推進計画を策定するものです。

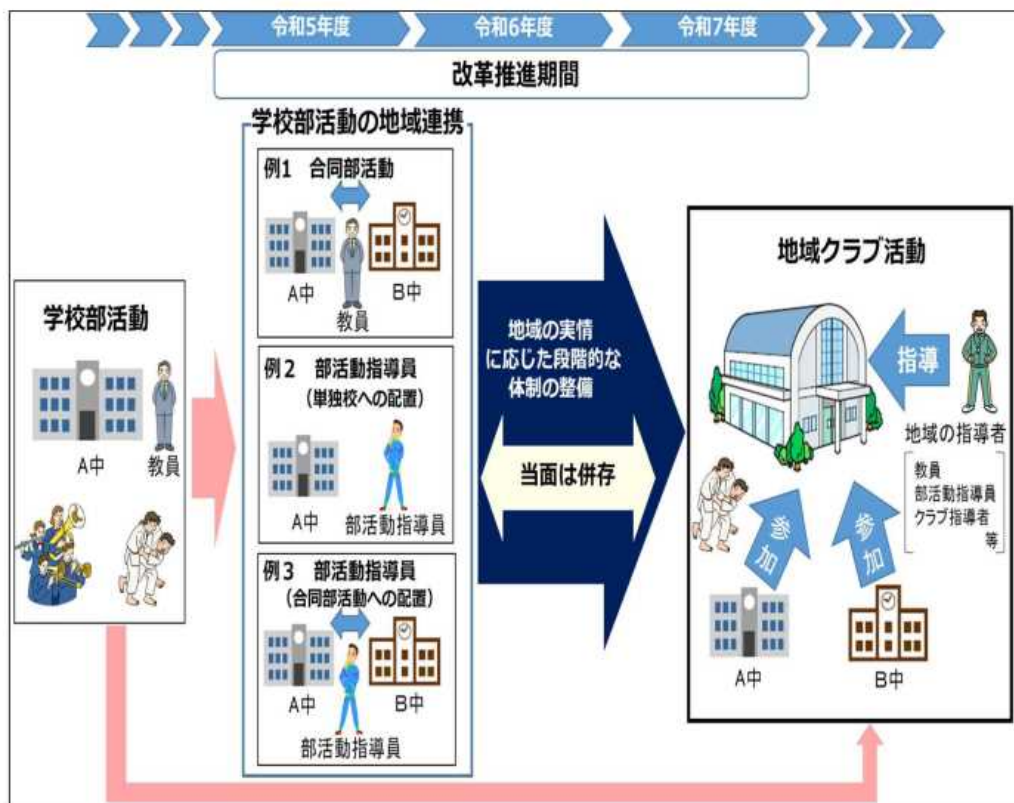
期間・取組

国が改革推進期間として定めた令和5年度から令和7年度中に地域移行を行うことを原則とします。地域移行に向けた取組を進めていくに当たっては、例えば休日と平日を併せた体制の整備を進めていくなど、やり方や方法は市町村の状況に応じた様々な形が考えられます。

## 目指す姿

誰もが 身近で スポーツや文化芸術活動に継続して親しむことのできる環境づくり

地域移行イメージ・課題等



地域移行に当たっては、学校部活動を地域クラブ活動へ移行することはもとより、部活動指導員など地域人材の活用や合同部活動の推進など、地域連携により体制を整備していくことも考えられます。

## 課題

## 取組例

### 1 実施主体 運営団体

・実施主体・運営団体の整備は、誰がどのように担うのか  
・単独での体制整備が困難な市町村はどうすればよいのか

○市町村におけるスポーツ・文化芸術所管部署と学校(部活動)所管部署等が連携・協力した、市町村が一体となった体制の整備

### 2 指導者

・地域指導者の質や量は、どのように確保するのか

○スポーツ・文化芸術団体等の協力を得た人材バンク等による指導者登録システムの構築

### 3 活動場所

・活動場所は、どのように確保するのか

○地域の中学校、公共スポーツ・文化施設等のほか、小学校や高等学校、特別支援学校や廃校施設の活用

### 4 保護者負担

・移動や謝金、活動経費などの家計負担に対し、どのように対応するのか

○県や市町村による、地域クラブ活動に係る施設使用料の免除や送迎の配慮などの支援の在り方の検討

### 5 保険の加入

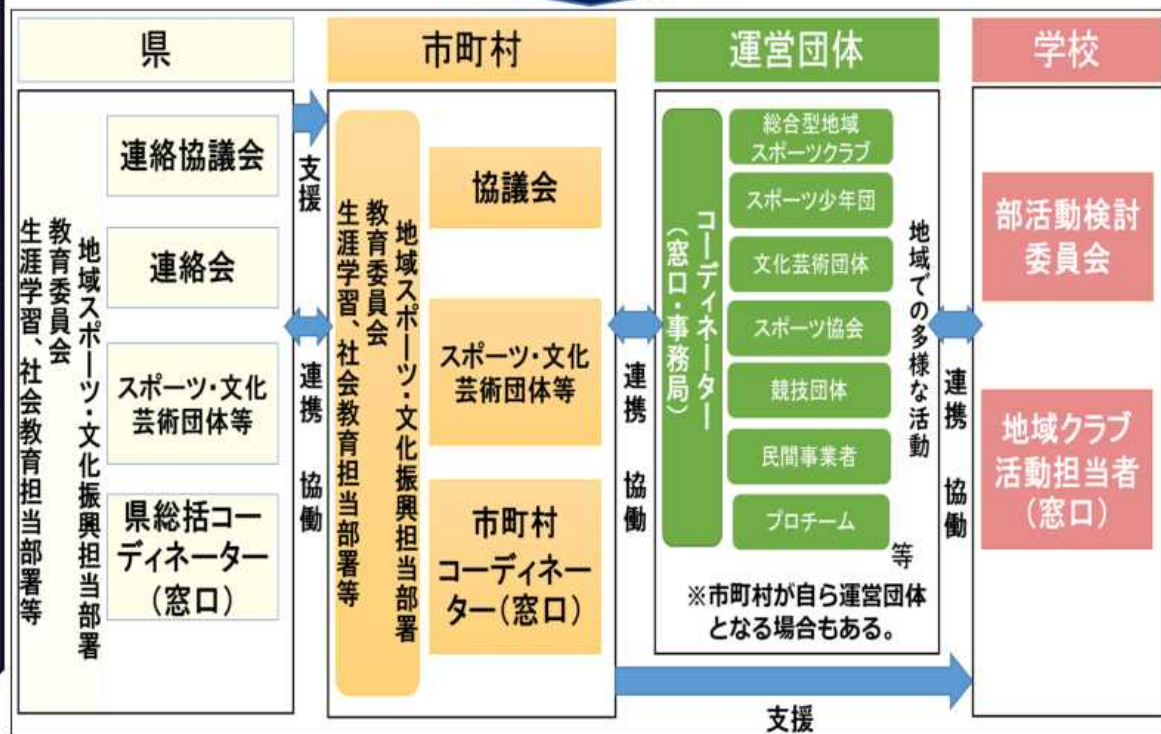
・生徒や指導者等のケガや事故は、どのように対応するのか

○傷害・損害保険等への加入や、実施主体・運営団体等によるスポーツ安全保険などの集団保険等への加入



県・市町村・学校等の役割と体制

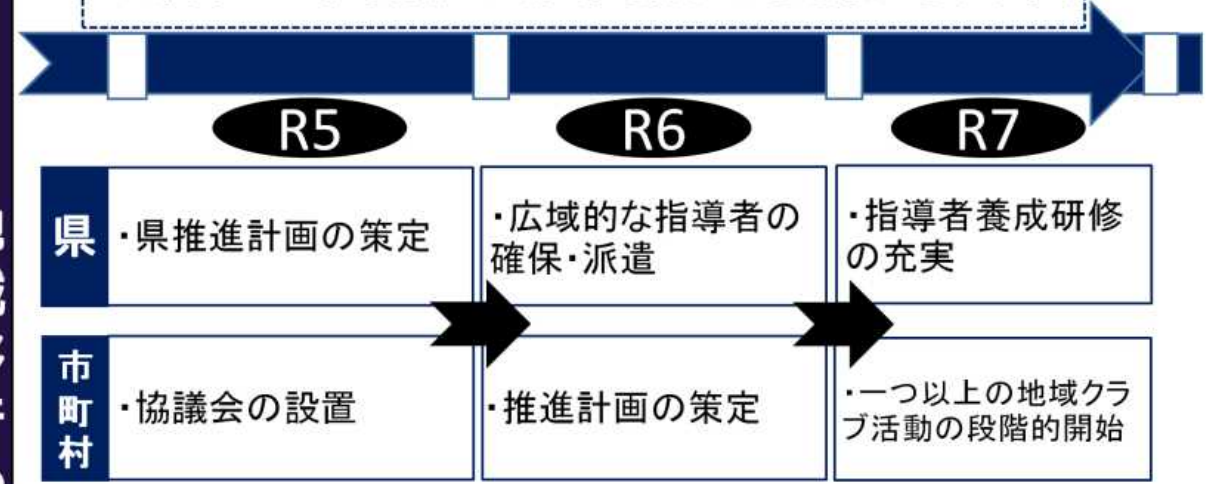
主体	主な役割			
県	国の事業等を活用した市町村への助言・支援			
	連絡協議会の設置	総括コーディネーターによる市町村への助言・支援	指導者の発掘・確保	
市町村	協議会の設置	指導者・運営団体等の確保	市町村の進捗状況把握、助言	
			活動内容の決定	活動場所の確保
学校	協議会の参画	学校部活動検討委員会の設置	生徒・保護者、地域住民への周知	



市町村が主体となり地域移行に向けた取組を進めるためには、関係者の役割を明確にし、各々が連携・協働する体制をつくる必要があります。

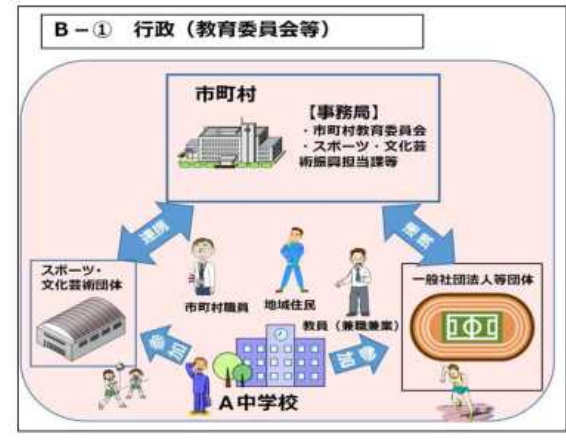
【改革推進期間】

期間中に各市町村が地域移行を行うことを原則とします。



地域移行の目標・移行パターン例

- パターンA 地域における既存団体**  
総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、クラブ・道場、民間スポーツクラブ等
- パターンB 地域における新たな団体**  
行政、スポーツ協会・競技団体、文化芸術団体、保護者会等
- パターンC 拠点校・市町村連携等**  
拠点校方式、市町村連携方式、中高連携方式



市町村においては、地域や学校の実態や特性に応じて、様々なパターンを組み合わせるなど、多様な方法が考えられます。また、進め方については、生徒や保護者に対する丁寧な説明を行うことが大切です。